

数値目標	内容	実績値等 <【】内は現時点で達成すべき値(状態)】>	達成状況	注記
1 社会増減数	現状値 203人(令和元年～令和5年の平均) →社会増を維持(令和5～9年の平均)	507人【社会増を維持】 (令和5～令和7年の平均)	○	<高槻市の社会増減数> 令和5年…258人 令和6年…644人 令和7年…618人 ※高槻市ホームページ公開「人口と世帯数」から作成
2 合計特殊出生率	現状値 1.29(令和5年) →1.63(令和9年)	1.29【1.38】 (令和6年)	×	目標値は達成できなかったが、国(1.15)、大阪府(1.14)よりも高い値となっている。
3 健康寿命の延伸	現状値<平均寿命>男性82.1年 女性88.1年(令和4年) <健康寿命>男性80.8年 女性85.2年(令和4年) →平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加	<平均寿命> 男性82.4年 女性89.0年(令和5年) <健康寿命> 男性81.0年 女性85.8年(令和5年) 【平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増	×	前年に比べ、平均寿命及び健康寿命が延伸している。 平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加に向け、引き続き、健康寿命の延伸を全体目標とする「第4次・健康たかつき21」の取組を推進していく。

KPI(重要業績評価指標)	内容	実績値等 <【】内は現時点で達成すべき値(状態)】>	達成状況	注記
4 本市を居住地として評価し、今後も住み続けたいと思う市民の割合(市民意識調査)	現状値 83.4%(令和5年度) →80%以上を維持	84.6%【80%以上】	○	前回の市民意識調査(令和5年度)より3ポイント上昇している。
5 子育て・教育環境が整っていると思う市民の割合(市民意識調査)	現状値 子育て 55.8% 教育 46.0% →上昇	子育て 55.8%【55.8%】 教育 46.0%【46.0%】	○	今回の市民意識調査の結果が起点となるため、今後上昇を目指す。40代までの世代でみると、子育てについては63.6%、教育については52.5%となっている。

《基本目標1 安全・安心で定住魅力のあるまちをつくる》

分野 具体的な施策・事業		1-1 都市機能が充実し、良好な環境が形成されるまち 評価指標	実績値等 <【】内は現時点で達成すべき値(状態)>	達成状況	注記
6 立地適正化計画に基づく取組の推進	誘導施設の充足率の向上(令和5年度) 都市拠点 ①高槻駅周辺:100% ②富田駅周辺:60% ③生活拠点(12か所):75% →100%(令和12年度)	①100%【100%】	○	誘導施設の撤退等はなかったため、充足率は維持している。今後も施設の動向を注視し、届出制度等により都市機能誘導区域内への誘導を図る。	
		②60%【60%】	○	誘導施設の撤退等はなかったため、充足率は維持している。今後も施設の動向を注視し、届出制度等により都市機能誘導区域内への誘導を図る。	
		③75%【79%】	×	誘導施設の新規整備等はなかったため、充足率は維持しているものの目標を達成できていない。今後も施設の動向を注視し、届出制度等により都市機能誘導区域内への誘導を図る。	
7 総合交通戦略に基づく取組の推進	市民1人当たり年間バス乗車回数 54.7回／人・年(令和4年度) →増加(令和9年度)	59.0回／人・年【63.5回／人・年】 (令和6年度)	×	令和6年度実績値については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による外出自粛等の影響を受け、大幅に減少した令和2年度から回復傾向が続いているものの、依然としてコロナ禍以前より低い水準でとどまっている。今後も厳しい状況が続くと予想されるが、引き続き、バス事業者と連携しながら、更なるバスの使いやすさ向上などの施策の推進を図る。	
8 新駅設置と新たな市街地形成の検討	鉄道事業者等との意見交換 年1回程度(令和7～9年度)	年2回【年1回】	○	令和7年度は鉄道事業者と継続した意見交換を実施した。引き続き鉄道事業者の動向を踏まえながら継続的な意見交換を実施する。	
9 公共施設のブロック塀等の撤去	公共施設のブロック塀等の撤去 →28.9km(令和10年度末)	20.2km(69.9%)【70%】 (令和7年度までの累計)	×	ブロック塀の撤去については4段以上のものは隣接者との協議を要するものなどを除き、全て対応が完了している(学校ブロック塀は全て対応完了)。3段以下のものについては、対応可能な箇所から撤去に取り組んでいる。	
10 民間ブロック塀等の撤去	ブロック塀等撤去補助の件数 674件(平成30～令和5年度の累計) →1,074件(平成30～令和9年度の累計)	838件【874件】 (平成30～令和7年度の累計)	×	実績値が目標値に達しておらず、危険なブロック塀等の撤去に関する意識の低下が懸念される。広報誌やホームページ、戸別訪問等により、補助制度やブロック塀等の危険性について周知啓発を行い、ブロック塀等の撤去促進に取り組む。	
11 民間建築物の耐震化	住宅の耐震化率 92%(令和7年) →おおむね解消(令和17年)	住宅の耐震化率 92%【おおむね解消】	×	実績値が目標値に達しておらず、引き続き耐震化の促進が必要であることから、令和8年3月に高槻市耐震化アクションプラン2026を策定。今後は本計画に基づき、広報誌やホームページ、個別相談会等により、補助制度について周知啓発を行い、耐震化の促進に取り組む。	
12 3世代ファミリー定住支援	補助件数 878件(平成25～令和5年度の累計) →1,200件(平成25～令和9年度の累計)	1,054件【1,038件】 (平成25～令和7年度の累計)	○	本制度は、他市に先駆けて平成25年度から実施しており、自治会回覧や広報誌等による周知を継続して行ったことから、令和7年度は90件分の交付件数を達成することができた。今後も引き続き制度の効果を検証しながら、周知に取り組んでいく。	

13	空家対策の推進	「相談から改善までの期間が2年未満」の割合 76.5%（平成27年度～令和6年度の累計） →80%以上（令和8年度～令和17年度の累計）	令和8年度から	—	第2期空家等対策計画が開始する令和8年度以降の実績を評価指標としており、実績値の把握は令和8年度末以降となる。
14	総合雨水対策の推進	校庭を利用した雨水流出抑制施設の設置 9校（平成29～令和5年度の累計） →10校（平成29～令和9年度の累計）	9校【9校】 （平成29～令和7年度の累計）	○	計画どおり進捗している。
15	基幹管路の耐震化	基幹管路の耐震適合率 55.7%（令和5年度） →70.0%（令和12年度）	63.6%【59.0%】	○	計画どおり進捗している。
16	本市域の温室効果ガス排出量の抑制	本市域の温室効果ガス排出量 令和12年度までに平成25年度比で30%削減	平成25年度比で21.8%削減【単年度目標なし】 （令和4年度暫定値）	令和12年度目標値の達成に向けて概ね良好に推移している	最新年度の暫定値では基準年度と比較して21.8%の削減となっており、前年度より排出量は増加しているが、目標値の達成に向けて概ね良好に推移している。
17	河川等の環境保全	都市河川水質（BOD）において環境基準を達成している地点数の割合 【環境基準達成地点数/市内の環境基準点の総数】 100%【3/3】（令和5年） →100%【3/3】（令和9年）	100%【3/3】【100%【3/3】】 （令和7年度）	○	環境基準達成率100%で推移しており、今後も継続してモニタリングを行っていく。

分野 具体的な施策・事業		1-2 魅力にあふれ、にぎわいと活力のある市民生活が充実 評価指標	実績値等 <【】内は現時点で達成すべき値（状態）>	達成状況	注記
18	摂津峡周辺の活性化	「摂津峡」への来訪者数 53,090人（令和5年度） →56,290人（令和9年度）	80,237人【54,690人】	○	引き続きオープンたかつきにおける摂津峡関連プログラムの実施等、摂津峡周辺の活性化に向けた取組を積極的に実施していく。
19	高槻城公園の整備 【第2世代交付金（拠点整備事業）対象事業】	観光消費額の増減 500万円増加（令和13年度）	令和9年度から	—	—
		公園来場者数（大手地区のみ） 10,000人（令和13年度）	令和9年度から	—	—
		多様な主体との協議会回数 4回/年（令和13年度）	令和9年度から	—	—
20	将棋振興の取組	主催将棋大会の参加者数 283人（令和5年度） →330人（令和9年度）	310人【330人】 （令和7年度）	×	定員超過による抽選後にキャンセルする者が一定数生じるため、達成には至らなかったものの、参加者は指標に近い数値となった。

21	都市型ツーリズムを活用した「将棋のまち 高槻」の推進【第2世代交付金(ソフト事業)対象事業】	・GPSの位置情報分析による市外来訪者数 3,092,995人(令和5年) →3,112,995人(令和9年)	3,037,305人【3,102,995人】	×	市外来訪者については、未達成ではあるものの、令和3年をピークに減少傾向にあったが、増加に転じた。今後も将棋振興や都市型ツーリズムの取組、プロモーション等をより積極的に実施することで、市外からの来訪者の増加を図る。
		・観光入込客数 2,280,400人(令和5年度) →2,288,400人(令和9年度)	2,720,097人【2,284,400人】	○	高槻城公園芸術文化劇場の利用者の増加や関西将棋会館の移転オープンなどにより観光入込客数が増加した。引き続き積極的な情報発信に取り組んでいく。
		・「将棋のまち 高槻」の認知度(本市の地域資源として将棋を認知している人の割合) 8.4%(令和5年度) →20.4%(令和9年度)	15.6%【14.4%】	○	上昇傾向で推移している。引き続き取組を推進し、「将棋のまち高槻」の認知度向上に努める。
		・「街がにぎわっている」と感じる市民の割合 58.7%(令和5年度) →66.7%(令和9年度)	60.1%【62.7%】	×	令和6年度から2.3ポイント上昇した。引き続き将棋振興や都市型ツーリズムの取組、プロモーション等を積極的に実施し、「街のにぎわい」創出に取り組んでいく。
22	創業支援等事業計画に基づく取組の推進	・相談件数1,895件(平成27～令和5年度の累計) →3,295件(平成27～令和9年度の累計)	2,600件【3,069件】 (平成27～令和7年度の累計)	×	相談件数(累計)は目標を下回ったが、創業者数(累計)は目標を上回り、達成した。 今後も商工会議所や関係機関と連携しながら創業支援に取り組む。
		・創業者数784件(平成27～令和5年度の累計) →1,144件(平成27～令和9年度の累計)	997件【848件】 (平成27～令和7年度の累計)	○	
23	企業誘致・定着の推進	企業立地促進制度・企業定着促進補助金の活用件数 54件(平成18～令和5年度の累計) →62件(平成18～令和9年度の累計)	58件【56件】 (平成18～令和7年度の累計)	○	商工会議所や関係機関との連携を深めることで更なる事業の周知と制度活用の促進を図る。
24	地産地消の推進	ビニールハウス設置補助の件数 61件(平成26～令和5年度の累計) →70件(平成26～令和9年度の累計)	67件【65件】 (平成26～令和7年度の累計)	○	順調に申請件数が増加しており、引き続きJAたかつき等の関係団体と連携しながら補助制度の周知に努める。
25	社宅等の整備促進	補助件数 11件(平成25～令和5年度の累計) →15件(平成25～令和9年度の累計)	補助件数:12件【13件】 <補助対象戸数:281件> (平成25～令和7年度の累計)	×	今期は物価高等により、申請がなかったと推測する。今後も引き続き、市内外の事業者に対して、制度活用に向けた効果的な周知を図る。
26	定住促進プロモーションの推進	・特設ホームページのアクセス件数 133,058件(令和5年度) →195,582件(令和9年度)	148,026件【164,320件】	×	定住促進特設サイト及びパンフレットをリニューアルしたほか、アンバサダーを起用し、重点エリアの東京圏を中心に屋外広告や映画館広告、インターネット広告を実施した。目標達成には至らなかったものの、アクセス件数は増加傾向にあり、引き続き効果的な情報発信に取り組んでいく。
		・定住促進プロモーション事業等の認知度 21.3%(令和5年度) →23.6%(令和9年度)	19.3%【22.5%】	×	全体の目標は未達成であるが、20代前半では24.0%、子育て世帯では21.9%と取組の認知度が高くなっている。引き続き、積極的なプロモーションに取り組む。
		・高槻市の「住むまち」としての評価 66.4%(令和5年度) →72.1%(令和9年度)	62.7%【69.3%】	×	全体の目標は未達成であるが、20代前半では69.8%、子育て世帯では67.9%と評価が高い傾向となっている。引き続き、積極的なプロモーションに取り組む。

27	「将棋のまち 高槻」定着化事業 【第2世代交付金(ソフト事業・インフラ整備事業)対象事業】	本市中心市街地への来訪者数 27,053,420人(令和6年度) →27,126,420人(令和10年度)	28,769,406人【27,071,670人】	○	令和6年度から上昇している。引き続き、「将棋のまち 高槻」の都市ブランドの定着とにぎわいの創出を図り、来訪者の増加に努める。
		「将棋のまち高槻」の認知度(本市の地域資源として将棋を認知している人の割合) 15%(令和6年度) →16.5%(令和9年度)	15.6%【15.5%】	○	上昇傾向で推移している。引き続き取組を推進し、「将棋のまち高槻」の認知度向上に努める。
		高槻の玄関口にふさわしい魅力ある都市空間であると思う割合 46.65%(令和6年度) →49.65%(令和9年度)	52.4%【47.65%】	○	令和6年度から上昇している。引き続き、高槻の玄関口にふさわしい魅力ある都市空間形成を推進する。

分野 具体的な施策・事業		1-3 誰もがいきいきと健やかに、安全で安心して暮らせるま 評価指標	実績値等 <【】内は現時点で達成すべき値(状態)＞	達成状況	注記
28	がん対策の推進(がん検診の無料化)	がん検診受診率 ①<肺がん> 10.6% → 11.1% ②<胃がん> 8.0% → 8.3% ③<大腸がん> 8.2% → 8.5% ④<子宮頸がん> 24.7% → 25.7% ⑤<乳がん> 17.0% → 17.7% ※第4次・健康たかつき21(令和16年度までの計画)から算出 ※左数値:令和4年度実績値 右数値:令和9年度目標値 ※40～69歳の値(子宮頸がんについては20～69歳、胃がんについては50～69歳)	①10.1%【10.9%】	がん検診受診率 ①【肺がん】× ②【胃がん】× ③【大腸がん】× ④【子宮頸がん】× ⑤【乳がん】○	乳がん検診については、目標を達成した。引き続き、受診率向上に向けて、市民が受診しやすい環境の整備や積極的な受診勧奨を行っていく。
			②7.9%【8.2%】		
			③8.0%【8.4%】		
			④24.8%【25.3%】		
			⑤18.2%【17.4%】		
29	認知症総合対策事業の充実	認知症サポーター養成人数 30,095人(平成19～令和5年度の累計) →35,755人(平成19～令和9年度の累計)	32,302人【33,000人】 (平成19年～令和7年度の累計)	×	目標の達成には至らなかったものの、高齢者のみならず、幅広い年齢層への講座を行うなどにより、着実に認知症サポーターの人数は増加している。
30	(仮称)地域共生ステーションの整備 【第2世代交付金(拠点整備事業)対象事業】 ※令和7年12月「たかつき未来パーク」に名称決定	(仮称)地域共生ステーション周辺地区の人口減少率の維持 参考値:-6.4%(令和6年度)	令和11年度から	-	-
		来場者数 100,000人(令和11年度)	令和11年度から	-	-
		市民等企画インクルーシブイベント実施回数 12回/年(令和11年度)	令和11年度から	-	-
		(仮称)地域共生ステーションミーティング参画登録者数(団体・個人) 8団体・個人(令和11年度)	令和11年度から	-	-
31	防災意識の向上	防災情報に係るSNSの登録者数 57,736人(令和6年3月末時点) →64,744人(令和9年度)	62,247人【60,072人】	○	堅調に登録者数は伸びている。引き続き、災害時の情報を自ら取得してもらえるよう、あらゆる機会をとらえ周知を行う。

32	防犯カメラの設置	防犯カメラ設置補助台数 103台(平成28～令和5年度の累計) →139台(平成28～令和9年度の累計)	111台【121台】 (平成28～令和7年度の累計)	×	引き続き、広報誌等により補助制度について周知啓発を行い、防犯カメラを活用した地域主体の防犯対策の充実を図る。
33	マンホールトイレの整備	指定避難所である小中学校等に設置するマンホールトイレの整備数 33か所(令和5年度) →58か所(令和元～令和9年度の累計)	45か所【45か所】 (令和元～令和7年度の累計)	○	計画どおり進捗している。
34	あらゆる世代が楽しめるスポーツ拠点整備 【第2世代交付金(拠点整備事業)対象事業】	人口減少率の抑制(年度中の人口減少数/人口) 0.38人(令和6年度) →0.23人(令和14年度)	令和10年度から	—	—
		健康寿命の延伸 83.55歳(令和6年度) →84.25歳(令和14年度)	令和10年度から	—	—
		グラウンド・ゴルフ場利用者数 6,000人(令和14年度)	令和10年度から	—	—
		成人の週1回以上のスポーツ実施率 55%(令和6年度) →69%(令和14年度)	48.2%【55.0%】	×	主に50歳代以下の層で目標数値を下回っている。スポーツへの関わり方の工夫や、仲間づくりの機会の提供等を通じて、事業を進めていく必要がある。
		介護予防活動参加者数 5,934人(令和6年度) →8,402人(令和14年度)	6,729人【7,500人】	×	目標は未達成だが、健幸パスポート発行者数は増加傾向にある。広報誌等での周知を行い、さらに発行者数を増やしていく必要がある。

分野 具体的な施策・事業		1-4 効果的・効率的な行政運営が行われているまち 評価指標	実績値等 <【】内は現時点で達成すべき値(状態)【】>	達成状況	注記
35	アセットマネジメントの推進	<学校以外の公共建築物> 個別施設計画に基づいた施設保全の管理状況 (施設保全プロセス実施施設/計画対象施設) 100%(令和5～9年度)	100%【100%】 (実施)124/(対象)124施設	○	公共建築物の個別施設計画対象施設において、施設ごとに劣化度調査を行った上で優先順位を設定し、必要な保全を実施した。
		<学校施設> 個別施設計画に基づいた施設保全の実施状況 (施設整備実施数/施設整備計画数) 100%(令和5～9年度)	100%【100%】 (実施)5施設/(計画)5施設	○	学校施設については、学校施設整備方針(個別施設計画)で示す長寿命化方針に基づき、劣化状況等を調査した上で優先順位決めを行い策定した学校施設整備実施計画(第2次:令和7～16年度)により施設整備を実行した。
36	行政手続のオンライン化推進	オンラインで行える行政手続数 850件(令和6年度) →1,150件(令和9年度)	1,019件【950件】	○	予定どおり達成。 引き続き、行政手続のオンライン化推進に努める。

「基本目標2 子育て・教育の環境が整ったまちをつくる」

分野 具体的な施策・事業		実績値等 ＜【】内は現時点で達成すべき値(状態)＞	達成状況	注記
2-1 子育て環境が整ったまち 評価指標				
37 妊産婦への支援事業の実施	母子保健コーディネーター相談支援率 100%(令和5年度) →100%(令和9年度)	100%【100%】 (令和7年度)	○	新規妊娠届出者に対して母子保健コーディネーターが面談を実施し、2,361件の支援プランを策定した。
38 子どものインフルエンザ予防接種費用の助成	子ども(生後6か月～小学6年生)のインフルエンザ予防接種人数 133,677人(平成28～令和5年度の累計) →186,781人(平成28～令和9年度の累計)	162,643人【159,915人】 (平成28年度～令和7年度の累計)	○	令和7年度からの対象者拡充(生後6か月～小学6年生を「～中学3年生」に拡充)により接種者増となり、目標値達成。令和8年度については、経鼻ワクチンに対する助成額の増額を予定。
39 民間学童保育室の設置促進	学童保育室の待機児童 30人(令和5年5月) →0人(令和9年5月) ※小学3年生以下	17人【0人】 (令和7年5月)	×	令和7年度に新たに9室の民間学童保育の設置があったが、学童保育の利用率の増加により、待機児童の解消には至っていない。引き続き民間学童保育室運営事業者の参入を促進し、受入枠の拡大を図る。
40 子育て中の就労活動の支援	マザーズセミナー参加者数 310人(令和5年度) →410人(令和9年度)	436人【410人】 (令和7年度)	○	対象者にとって魅力的なテーマや講師の選定を行った結果、目標を達成したものと推察する。今後もセミナーの周知とともに、より魅力のある講師やテーマの選定等を続け、参加者数の増加及び参加内容の充実に努める。
2-2 教育環境が整ったまち 評価指標				
分野 具体的な施策・事業		実績値等 ＜【】内は現時点で達成すべき値(状態)＞	達成状況	注記
41 中学校家庭学習支援事業	普段、1日にあたり1時間以上勉強をする生徒の割合 65.5%(令和5年5月調査値) →71.5%(令和9年5月調査値)	普段、1日にあたり1時間以上勉強をする生徒の割合 63.8%【67.0%】 (令和7年5月調査値)	×	1時間以上勉強している生徒の割合は全国平均を上回っているものの、R5と比べ減っていることには課題意識を持っている。家庭学習支援事業を通して、家庭学習の時間を増加させる取組を推進していく。
42 小中一貫教育の推進	義務教育学校設置に向けた審議会の開催 →年6回(令和9年度)	学校教育審議会の開催 年4回【年4回】 (令和7年度)	○	本市の義務教育学校設置の在り方について、調査及び審議を行った。
43 ICTを活用した教育の推進	タブレット端末を活用した授業を毎日実施するクラスの割合 →100%(令和9年度)	98.2%【100%】 (令和8年2月度)	×	KPIの値は未達であるが、毎年度目標値に向かって推移し、1人1台端末を活用した学習は定着していると考えられ、ほぼ計画どおり。
44 体育館への空調機器設置	体育館への空調機器設置を完了した小中学校数 0校(令和4年度) →59校(令和7年度)	59校【59校】 (令和4～令和7年度の累計)	○	計画どおり、令和7年度に全小中学校への空調機設置を完了した(令和7年度 小学校20校、中学校7校実施)。